

防犯建物部品

2007年度新製品

CONTENTS

型式		ダイジェスト頁	詳細頁	切込外観図頁
	防犯建物部品について		40	
	美和ロックの防犯建物部品の特徴		42	
iEL	インテリジェント電気錠 (CP仕様)	44	680～683	—
FKLVF	レバーハンドル電池錠 (CP仕様)	45	684～687	792、793
PLVF	平行移動型 鎌テッドプッシュプル錠	46	428、429	453
PLVFK	平行移動型 鎌テッドプッシュプル警備信号錠	46	649	766
PGVF	鎌テッドプッシュプル錠	47	432～435	455、456
PPVF	鎌テッドプッシュプル錠	48	440、441	459
PGVFK	鎌テッドプッシュプル警備信号錠	48	649	768
PPVFK	鎌テッドプッシュプル警備信号錠	48	650	770
LVF	鎌テッドレバーハンドル錠	48	142、143	176
LVF-HR	鎌テッドレバーハンドル錠	48	142、143	177
LVFK	鎌テッドレバーハンドル警備信号錠	49	651	772
LVF-BL	鎌テッドレバーハンドル錠	49	536	556
LV	レバーハンドル錠	49	144、145	178
LV-HR	レバーハンドル錠	49	144、145	177
6LHVS	高級レバーハンドル錠	49	132、133	167
6LHVT	高級レバーハンドル錠 (自動施錠タイプ)	50	136、137	168
6LHVT-A	高級レバーハンドル錠 (自動施錠タイプ)	50	136、137	169
RVH	サムターン付シリンダー面付箱錠	50	534、535	555
MV	ケースロック	50	211	238
6MHVS	高級ケースロック	50	209	234
6MHVT	高級ケースロック (自動施錠タイプ)	51	210	235
6MHVT-A	高級ケースロック (自動施錠タイプ)	51	210	236
DVF	鎌テッド本締錠	51	262	284
DVF-HR	鎌テッド本締錠	51	262	285
DVFK	鎌テッド本締警備信号錠	51	651	772
DVF-BL	鎌テッド本締錠	51	537	556
DUVF	2点式彫込本締錠	52	266	291
DUVF-HR	鎌テッド本締錠	52	266	292
DV	本締錠	52	263	286
DV-HR	本締錠	52	263	286
6DHV	本締錠	52	270	295
FGV-BL	引戸鎌錠	53	470	480
ND2F-BL	面付本締錠	53	541	560
ND2F-ATBL	面付本締錠	53	541	560
ND2R-BL	面付本締錠	53	542	561
ND2R-ATBL	面付本締錠	53	542	561

防犯建物部品について

平成16年4月1日に警察庁より防犯性能の高い建物部品の目録が公開されました。この防犯性の高い建物部品を防犯建物部品とよび、共通のCPマークを表示することができます。

この防犯建物部品は官民合同会議の防犯性能試験に合格した製品です。



▲CPマーク

1. 官民合同会議

建物への侵入犯罪の防止を図るため、平成14年11月に「防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議」が設置されました。

その設置趣旨は以下の通りです。

「最近における建物への侵入による犯罪の実体にかんがみ、関係する省庁および民間団体が建物部品の開発および普及の方策について検討を行うため、防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する合同会議を設置する。」

防犯性能の高い建物部品の開発・普及に関する官民合同会議設置趣旨より

平成15年10月に防犯性能の高い建物部品の試験基準が決定され、11月より試験が実施されました。平成16年4月1日に試験合格品の目録が公表されました。

2. 構成員

官民合同会議に参加している関係団体

警察庁	社団法人日本サッシ協会	社団法人建築業協会
国土交通省	社団法人全国警備業協会	社団法人住宅生産団体連合会
経済産業省	社団法人日本防犯設備協会	社団法人日本建築士会連合会
板硝子協会	日本ロック工業会	社団法人日本建築家協会
日本ウィンドウ・フィルム工業会	財団法人全国防犯協会連合会	社団法人日本建築士事務所協会連合会
社団法人日本シャッター・ドア協会	財団法人ベターリビング	社団法人日本損害保険協会

3. 試験をする建物部品の種類

(1) ドア

- ① ドア (A種) (スイングドアのうち、ドア (B種) 以外のものをいう。なお、試験細則はサッシと共通とする。)
- ② ドア (B種) (主として中高層建物 (ビル・マンション) の出入り口に使用されるスチール製又はステンレス製のスイングドアをいう。)
- ③ 錠 (交換用シリンダー及びサムターン、電気錠、リーダ部を含む。)

(2) 窓

- ① サッシ (スライディングドアを含む。)
- ② ガラス
- ③ フィルム
- ④ 窓用雨戸及び窓用面格子 (試験細則はサッシと共通とする。)
- ⑤ 窓用シャッター

(3) シャッター

- ① 重量シャッター (シャッターのうち、窓シャッター以外のものであって、スラットの板厚が1.2mm以上あるもの及びこれと同等以上の防犯性能を有するものをいう。)
- ② 軽量シャッター (シャッターのうち、窓シャッター及び重量シャッター以外のものをいう。)
- ③ シャッター用スイッチボックス

当社の防犯建物部品は(1)ドアの③錠に定められた試験に合格した製品です。

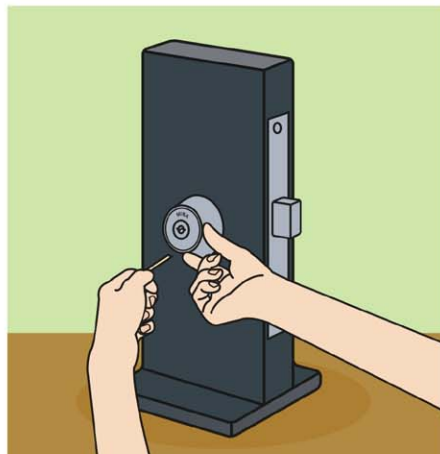
錠、シリンダーおよびサムターンに関する試験の概要

防犯性能の試験は3段階に分けて試験されます。最終の試験に合格した製品が防犯建物部品となります。

第1系列の試験

応募した全ての製品について特殊な技能を持った複数の試験員が下記の5項目について試験を行います。基準以上の成績の製品が合格となります。

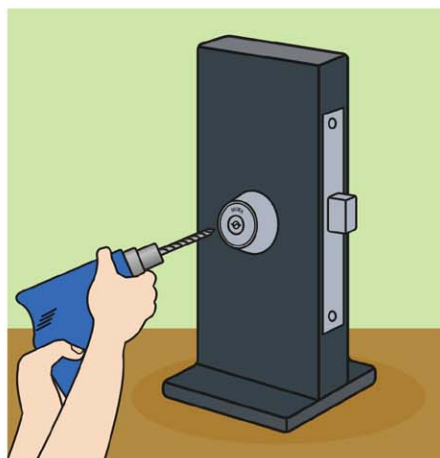
1. 耐ピッキング試験
2. 耐インプレッション試験
3. バイパス解錠試験
4. 耐読み取り性能試験
5. サムターン解錠試験



第2系列の試験

第1系列の合格品について複数の一般試験員が下記項目の試験を行います。基準以上の成績の製品が合格となります。

1. ドリリング試験
2. シリンダーのもぎ取り
3. シリンダープラグの引き抜き
4. シリンダープラグの捻り
5. デッドボルトの切断
6. 携帯用ガスバーナー試験



第3系列の試験

第2系列の合格品について一般試験員が行う試験です。予め決められた標準ドアと標準枠に製品を取り付け、一般試験員がバールを用いたドア錠こじ破りおよび受け座壊しを行います。いずれの場合もドアが開くまでの実働時間が5分以上かかる場合は合格となります。

または、開き扉の彫込錠、面付錠および引戸錠においてJIS A1541-2の「外力に対する性能」のグレード3以上の強度性能を持つ錠については第3系列の試験については合格とみなされます。

電気錠システム防犯性能試験

電気錠システムは第1～第3系列の試験以外に、以下の試験基準を満たした製品が合格となります。

1. 電氣的攻撃試験
2. 各システム固有の試験

なお、試験の詳細につきましては警察庁のホームページ
http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki9/hp_keisai.html
 をご参照ください。

美和ロックの防犯建物部品の特徴

防犯建物
部品

多数の製品をラインナップ

住宅用の錠前からオフィスビルの錠前まで多数の合格品を用意しています。取り付ける建物の機能に合わせて最適なものをお選びいただけます。

多数のシリンダーバリエーション

U9、UR、UR-J、PR、PR-J、JNと6種類のシリンダーを用意しています。使う場所の機能に合わせて最適なシリンダーをお選びいただけます。



U9シリンダー

URシリンダー

UR-Jシリンダー

PRシリンダー

PR-Jシリンダー

JNシリンダー

使いやすさと防犯性を兼ね備えたスイッチ式サムターン (PAT.P)

日常使用の使いやすさと、不正解錠に対する防犯性という正反対の問題にMIWAはスイッチ式サムターンでお応えします。現在知られているサムターン回しの不正解錠方法で解錠することは困難です。

また、中央部には蓄光樹脂を使用しているため暗い場所や夜間でもサムターンの状態が確認できます。



■ スイッチ式サムターンの操作

① サムターンの上下にあるスイッチを押し込んだ状態にするとサムターンを回すことができます。



①-1.上下のスイッチを指でつまみます。



①-2.軽く押し込みます。



①-3.そのまま回します。

② 日常指で解錠操作する場合は、自然な形でスイッチを押すことができるため、普通のサムターンを操作する感覚で解錠することができます。

③ 扉に開けた穴や隙間から差し入れた不正解錠工具で上下のスイッチを押しながらサムターンを回転させることは困難です。

④ さらに、サムターンが水平状態を保っていないとスイッチを押すことができない構造であるため、不正解錠工具ではスイッチを押すことも困難です。

⑤ 施錠する場合はスイッチを押さなくてもサムターンを回転させることができます。(注1)

(注1) ND2Fシリーズ、ND2Rシリーズは施錠、解錠共にスイッチを押さないと回転しません。

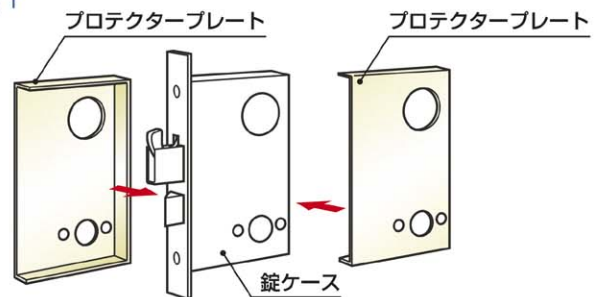
(注2) サムターンのつまみ部分の材質は亜鉛ダイカストです。

(注3) スイッチ式サムターン (B5サムターン) は防犯建物部品だけでなく一般の錠前にも取り付けることができます。詳細はP928の錠前の性能表示の耐サムターン回し性能の項目をご参照ください。

嚴重なバイパス解錠対策

錠ケースにあるわずかな隙間からのバイパス解錠も想定し、徹底的な対策を施しています。
また、錠ケースにドリルで穴を開けてのバイパス解錠もできないようケースにプロテクタープレート (図1 参照) を装着し対策しています。

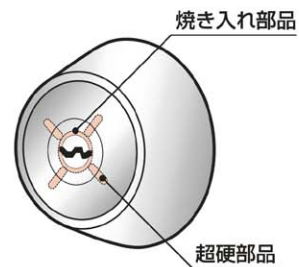
図1



耐ドリリング解錠性能

- ・ シリンダーへのドリリング攻撃に対してもシリンダー内部に焼き入れ部品や超硬部品で防御しています。(図2 参照)
- ・ ケースへのドリリング攻撃に対してもプロテクタープレート (図1 参照) で防御しています。

図2



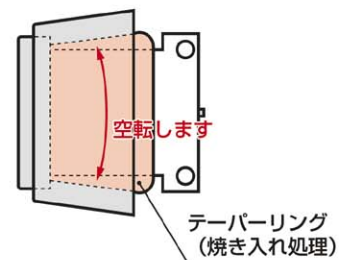
耐かぎ穴壊し性能

上記の焼き入れ部品や超硬部品 (図2 参照) で、ホルソーでのかぎ穴壊しに対しても高い抵抗力があります。

耐シリンダーもぎ取り対策

シリンダーの外装部にもぎ取り防止対策部品を装着しています。テーパ形状の焼き入れ部品 (図3 参照) を空転するように装着しているため不正解錠工具を効果的に使用することができず、もぎ取りは困難です。

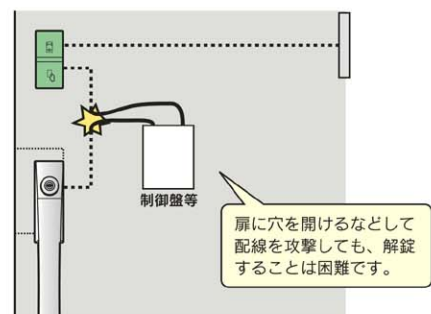
図3



配線攻撃対策 (電気錠システムのみ)

配線に攻撃されても容易に解錠できない制御方式を採用しています。(図4 参照)

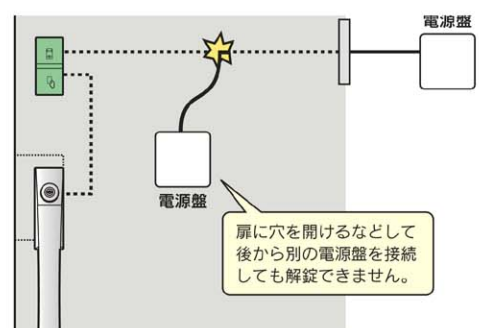
図4



なりすまし対策 (電気錠システムのみ)

設置時に電気錠と電源盤を相互認証させる為、その後同機種種の電源盤を接続しても電気錠を解錠させることはできません。(図5 参照)

図5



ID 鍵違い数 (電気錠システムのみ)

ID キーは膨大な鍵違い数がありますので、不正解錠防止性能に優れています。